

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	建築材料設計特論B（Advanced Building Materials Design B）		
ナンバリングコード	R20216	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M007001	クラス名	-
担当教員名	濱永 康仁		
履修上の注意、 履修条件	コンクリートやコンクリート構造物に関する文献を行うため、文献調査の方法を各自で学んでおくこと。 出席は毎回確認する。遅刻は認めず欠席扱いとする。欠席時の講義資料は配布しない。認定出席の対応はしない。講義には万全の準備をして臨むこと。		
教科書	講義の内容に応じて資料を配布する。		
参考文献及び指定図書	各種文献		
関連科目	建築材料設計特論A（単位を修得していない学生は受講できない）		

○基本情報		
授業の目的	コンクリート、鉄筋コンクリートの応用的な知識について学び、コンクリート関連の研究者に準じた知識を身につけることを目標とする。 本講義は、環境情報学専攻のディプロマポリシーにおいて表記されている、「情報工学、建築学及び土木工学の基礎ならびに応用研究を推進する中で広い視野と高度な専門技術を発揮できる能力」、を身に着けるうえで、建築学、土木工学に通じるコンクリート工学の研究に関する知識を身に着けることを目的としている。	
授業の概要	コンクリートに関する研究論文を読み解き、その内容を把握することによってコンクリートのみならず鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造を含めたコンクリート構造物についての知識を修得する。 講義は受講者が調べてきた内容について発表し、その内容に対して討議を行うものとする。 予習および事前準備が必須の講義である。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	コンクリートやコンクリート構造物を構成する要素に興味をもって講義に臨むことができる。		10%	10%
【ディプロマ・ポリシー②】	構造物に対して適切なコンクリートを選択することができる。		20%	20%
【ディプロマ・ポリシー③】	コンクリートの調査設計およびそれに準じたコンクリート打設を行うことができる。		20%	20%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

自分で文献を調査し、その結果についてまとめることが重要です。
コンクリート、コンクリート構造物に興味を持ってください。
「建築材料設計特論A」の単位を修得していない学生はこの講義を受講することはできません。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名	建築材料設計特論B (Advanced Building Materials Design B)		授業コード	M007001
		担当教員	濱永 康仁			
学修内容						
1. ガイダンス、構造物の歴史						
使用されている材料を重視し構造物の歴史的変遷について学ぶ。						
予習		講義資料				約2時間
復習		配布資料				約2時間
2. 構造構造物の設計1						
使用されている材料に着目し各種構造設計法について学ぶ。						
予習		講義資料				約2時間
復習		配布資料				約2時間
3. 構造物の設計2						
使用されている材料に着目し各種構造設計法について学ぶ。						
予習		講義資料				約2時間
復習		配布資料				約2時間
4. 構造物の設計3						
使用されている材料に着目し各種構造設計法について学ぶ。						
予習		講義資料				約2時間
復習		配布資料				約2時間
5. 建築材料に関する研究1						
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。						
予習		文献調査				約3時間
復習		発表内容の修正				約1時間
6. 建築材料に関する研究2						
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。						
予習		文献調査				約3時間
復習		発表内容の修正				約1時間
7. 文献調査1						
海外の文献も含めた構造物について研究している論文を調査し、その概要について報告する。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。						
予習		文献調査				約3時間
復習		発表内容の修正				約1時間
8. 文献調査2						
海外の文献も含めた構造物について研究している論文を調査し、その概要について報告する。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。						
予習		文献調査				約3時間
復習		発表内容の修正				約1時間

○授業計画		科 目 名	建築材料設計特論B（Advanced Building Materials Design B）	授業コード	M007001
		担当教員	濱永 康仁		
学修内容					
9. 建築材料に関する研究3					
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。 また、実際に構造物の作製について検討する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
10. 建築材料に関する研究4					
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。 また、実際に構造物の作製について検討する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
11. 建築材料に関する研究5					
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。 また、実際に構造物の作製について検討する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
12. 建築材料に関する研究6					
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。 また、実際に構造物の作製について検討する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
13. 建築材料に関する研究7					
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。 また、実際に構造物の作製について検討する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
14. 建築材料に関する研究8					
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。 また、実際に構造物の作製について検討する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
15. 建築材料に関する研究9					
使用されている材料に着目し構造物に関して行われている研究についてまとめる。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。 また、実際に構造物の作製について検討する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
16.					
期末テストは実施しない。					
予習					
復習					